令和５年度　外国語科　授業改善推進プラン

大田区立池上小学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

・ほとんどの項目において、区の平均、目標値と同程度、または上回る値を示しており、特に昨年課題だったアルファベットの書き問題では83～97％という高い正答率になり、授業改善の効果が感じられる。

（２）課題

・活用（英作文）問題については、区の平均や目標値に達していないものが多いが、原因は活用問題（英作文・記述問題）がテストの最終部分に固まっているため、そこまで時間内に終わらず未回答の児童が昨年度よりも多かったことが理由と考えられる。無回答者をのぞく回答者の正答率は、区の平均とほぼ同程度であることから、理解度の問題と言うよりは処理速度の改善が必要。

２　大田区学習効果測定の結果分析

（１）　達成率（経年比較）

・６年次のみの実施のため、記載なし。ただし、昨年度の 6 年生と比べると、昨年度まで課題であったアルファベット（小文字）の書き問題の正答率は改善傾向。

（２）　分析（観点別）

①　第６学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ほとんどの問題で目標値、区の平均を上回り、正しい知識・理解が身に付いている。 ・身近で簡単な語句の聞き取りはよくできる。 ・特に活字体や語句を四線上に正しく書く問題の正答率は高く、定着している。	・聞いて理解する問題はよくできている。 ・例文を参考に英作文をする問題の正答率が低いが、誤答率はさほどではなく、無回答（時間が足りなかった）が昨年度より多いことから、この結果により思考力、判断力、表現力が低いとは言い切れない。	・態度に関わる問題の正答率は目標値、区平均を下回っているが、それらの問題（活用問題）はテストの終盤に固まっており、そこまで到達しない児童がいたことから、学びに向かいたい気持ちはあっても処理が追い付いていない可能性が考えられる。

３　授業改善のポイント（観点別）

（１）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌やチャンツ、ゲームなどを通して、外国語の音声やリズムに慣れ親しむ活動は維持しつつ、**文字も併せて提示し、文字の形に見慣れる機会を多くする。** ・ローマ字を中心に、アルファベットの大文字小文字を正しく書けるよう、振り返りカードなどで**毎時間、少しずつ書き写したり、なぞったりする時間を設定する。**	・**児童にとって身近で具体的な場面設定**をし、相手意識と目的意識をもったコミュニケーションを図れるようにする。	・**聞く活動を十分に確保**したゲームなどを通し、児童の英語への抵抗感をなくし、自信をもって学習活動に取り組めるようにする。

（２）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・コミュニケーションの中で活用できる基礎的な語彙を定着させ、2 つ以上の内容含む聞き取りを、それぞれが正しく聞き取れるような方法を工夫する。	・自分たちのことや身近なことについて、**例文を参考に書き写す活動を多く確保**する。 ・必然性のある活動や場面設定	・**音声を中心**に外国語に慣れ親しみ、外国語を通じて自己表現したり他者のことを理解したりしようとする態度を養う。

・文字や単語を四線上に書くことができるよう、十分な時間を取って指導する。また、表現については語順も意識して書き写す練習を重ねる。	をし、目的、場面、状況を考えたコミュニケーションを設定する。	・ペア活動やプレゼンテーションの時間を取り入れ、他者と伝え合うことの楽しさを実感できるようにする。